

◆ 埼玉県管内図 ◆
(平成22年3月現在)



I 自然と人口

◆ 本県の位置と面積 ◆

県庁所在地 (平成14.6.3測量)	さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号 東経139°39′ 北緯35°51′ 標高15.32m
管内経緯度極点 (平成21.9.1現在)	東 三郷市 東経 139°54′ 西 秩父市 東経 138°42′ 南 新座市 北緯 35°45′ 北 児玉郡上里町 北緯 36°17′
面積 (平成17.10.1現在)	3,797.30km ²

資料：埼玉県公共測量基準点、国土地理院HP、「国勢調査」総務省統計局

◆ 市町村合併の状況 ◆

合併期日	新市町名(合併関係市町村)	計	市	町	村
平成13年5月1日	さいたま市 (浦和市、大宮市、与野市)	90	41	39	10
17年1月1日	飯能市 (飯能市、名栗村)	89	41	40	8
4月1日	さいたま市 (さいたま市、岩槻市) 秩父市 (秩父市、吉田町、大滝村、荒川村)	85	40	39	6
10月1日	熊谷市 (熊谷市、大里町、妻沼町) 鴻巣市 (鴻巣市、吹上町、川里町) 春日部市 (春日部市、庄和町) ふじみ野市 (上福岡市、大井町) 小鹿野町 (小鹿野町、両神村)	78	40	33	5
18年1月1日	行田市 (行田市、南河原村) 深谷市 (深谷市、岡部町、川本町、花園町) 神川町 (神川町、神泉村)	73	40	30	3
1月10日	本庄市 (本庄市、児玉町)	72	40	29	3
2月1日	ときがわ町 (都幾川村、玉川村)	71	40	30	1
19年2月13日	熊谷市 (熊谷市、江南町)	70	40	29	1
22年3月23日	加須市 (加須市、騎西町、北川辺町、大利根町) 久喜市 (久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町)	64	40	23	1

資料：県地域政策課HP

項目	データ	全国順位
(面積)		
面積	3,797.30km ²	39
林野面積	122,806ha	41
自然公園面積	124,583ha	14
面積1km ² 当たり人口密度	1,857.7人	4
面積中の可住地面積割合	67.6%	2
(気候)		
年平均気温	15.4℃	27
快晴日数	53日	2
(人口)		
人口総数	7,054,243人	5
男	3,554,843人	5
女	3,499,400人	5
外国人	80,035人	6
年少人口(0~14歳)	986,361人	5
生産年齢人口(15~64歳)	4,892,253人	5
老年人口(65歳以上)	1,157,006人	6
生産年齢人口割合	69.4%	1
平均年齢	41.8歳	43
平均寿命(男)	79.05年	15
平均寿命(女)	85.29年	42
(人口変動)		
昼間人口	6,158,964人	5
昼夜間人口比率	87.5%	47
他都道府県からの転入者数	167,624人	3
他都道府県への転出者数	152,752人	4
出生数	60,520人	5
合計特殊出生率	1.28	42
死亡数	51,730人	6
(世帯)		
一般世帯数	2,630,623世帯	5
核家族世帯割合	64.4%	2
高齢単身世帯割合	5.5%	45
婚姻件数	40,604件	5
離婚件数	14,112件	4
平均初婚年齢(夫)	30.7歳	3
平均初婚年齢(妻)	28.7歳	3

~本編より抜粋~

1 自然・地形

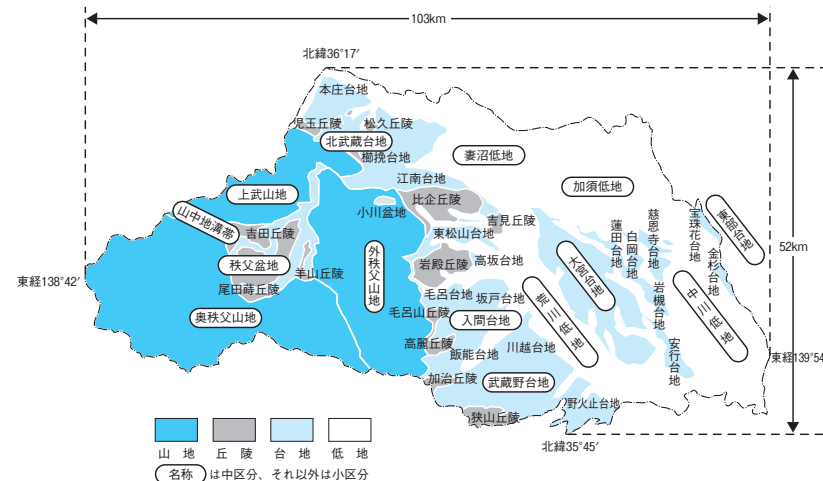
単 位	*1 林野面積		*2 自然公園面積		*3 自然環境保全地域面積		*4 河川延長・一級河川 (指定区間外含む)	
	ha	順位	ha	順位	ha	順位	km	順位
全 国	24 860 941		5 410 005		76 397.73		87 949.5	
北海道	5 568 179	1	865 629	1	5 957.83	3	10 174.9	1
青森県	630 080	9	114 591	18	1 230.17	16	1 081.0	34
岩手県	1 156 424	2	71 939	29	2 135.45	11	2 140.7	14
宮城県	412 980	21	171 199	8	7 817.32	2	2 112.4	15
秋田県	836 420	6	123 777	15	703.92	21	2 738.1	8
山形県	643 324	8	155 810	10	5 105.96	6	2 923.3	6
福島県	943 104	4	179 124	6	4 867.41	7	3 438.5	4
茨城県	187 627	39	90 896	20	645.21	22	1 892.9	20
栃木県	343 345	27	133 440	13	4 672.26	8	2 732.2	9
群馬県	406 290	22	88 970	21	5 327.21	4	2 904.5	7
埼玉県	122 806	41	124 583	14	518.24	24	1 642.5	25
千葉県	162 217	40	28 537	43	1 773.75	15	512.6	41
東京都	74 410	46	79 359	27	405.30	26	405.6	38
神奈川県	94 628	44	55 138	32	11 198.00	1	331.7	42
新潟県	810 142	7	316 891	2	2 008.42	13	3 604.4	3
富山県	239 480	35	119 754	17	623.78	23	1 168.8	32
石川県	279 581	32	52 494	33	1 050.50	17	316.8	43
福井県	310 796	30	61 432	31	273.12	29	1 099.5	33
山梨県	349 577	26	121 153	16	2 144.33	10	2 055.6	17
長野県	1 022 013	3	278 522	3	790.42	19	5 070.4	2
岐阜県	844 354	5	195 093	5	2 956.87	5	3 260.1	5
静岡県	497 090	16	83 780	25	5 185.52	9	1 627.0	26
愛知県	219 639	37	88 838	22	261.08	30	1 384.1	30
三重県	374 362	24	201 896	4	458.60	25	1 745.9	22
滋賀県	205 710	38	149 957	12	-	-	2 321.5	12
京都府	342 976	28	25 738	45	221.87	33	1 554.3	27
大阪府	57 847	47	19 092	47	38.33	43	669.8	39
兵庫県	562 626	14	166 015	9	398.30	27	1 770.5	21
奈良県	284 188	31	63 328	30	92.10	40	1 650.0	24
和歌山県	362 626	25	42 775	37	329.39	28	602.0	40
鳥取県	257 158	33	49 060	34	153.70	37	1 034.2	36
島根県	528 382	15	40 497	40	278.74	36	2 288.1	13
岡山県	489 875	17	80 664	26	101.33	39	2 543.8	10
広島県	621 467	10	37 853	42	2 054.12	12	2 424.6	11
山口県	434 679	20	42 667	38	-	-	209.8	44
徳島県	312 432	29	38 706	41	39.00	42	1 520.1	28
香川県	87 625	45	20 534	46	88.02	41	87.2	46
愛媛県	400 040	23	41 121	39	1 914.37	14	1 944.4	18
高知県	594 341	11	47 504	35	4.70	45	1 927.6	19
福岡県	222 654	36	88 107	23	134.11	38	1 300.2	31
佐賀県	110 041	43	26 884	44	243.93	31	1 077.3	35
長崎県	246 499	34	74 092	28	733.12	20	136.8	45
熊本県	464 943	18	155 636	11	182.01	35	1 734.5	23
大分県	456 488	19	174 849	7	16.16	44	2 074.4	16
宮崎県	587 641	13	91 919	19	183.97	34	1 507.8	29
鹿児島県	589 871	12	85 892	24	229.00	32	878.1	37
沖縄県	111 964	42	43 864	36	950.79	18	-	-

資料出所
 *1 「農林業センサス」農林水産省
 *2 「環境統計集」環境省HP
 *3 「環境統計集」環境省HP
 *4 「河川管理統計」国土交通省

調査時点又は期間
 平成17年 2月 1日
 平成21年 3月31日
 平成20年 3月31日
 平成20年 4月30日

調査周期
 5年
 毎年
 毎年
 毎年

埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図(1975村本達郎氏による)

県土の3分の1が林野

本県は関東地方の中西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山々が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「農林業センサス」によると、林野面積は122,806haで県土の32.3%を占め、このうち現況森林面積は122,535haで、県土保全・水資源のかん養・保健休養など貴重な役割を担っています。

県土の3分の1が自然公園

「環境統計集」によると、平成21年3月31日現在、自然公園は国立1か所、県立10か所の計11か所124,583haが指定されており、県土の32.81%を占めています。また、自然環境保全地域として、518.24haが指定されています。

流域に人口・資産が著しく集積する利根川・荒川水系は「一級河川」に指定されており、県内の150河川はすべて利根川・荒川水系に含まれています。

※表*2の自然公園面積は、国立公園、国定公園及び都道府県立自然公園の合計面積で再測定面積のため、都道府県値の計は全国値と一致しません。

～関東ふれあいの道～

関東ふれあいの道(首都圏自然歩道)は、1都6県をぐるりと1周する総延長1,665kmの自然歩道で、全144コースが設定されています。そのうち、埼玉県には、美しい自然を楽しむ、田園風景、歴史や文化遺産にふれることのできる13コースがあります。



おしえてコバトン

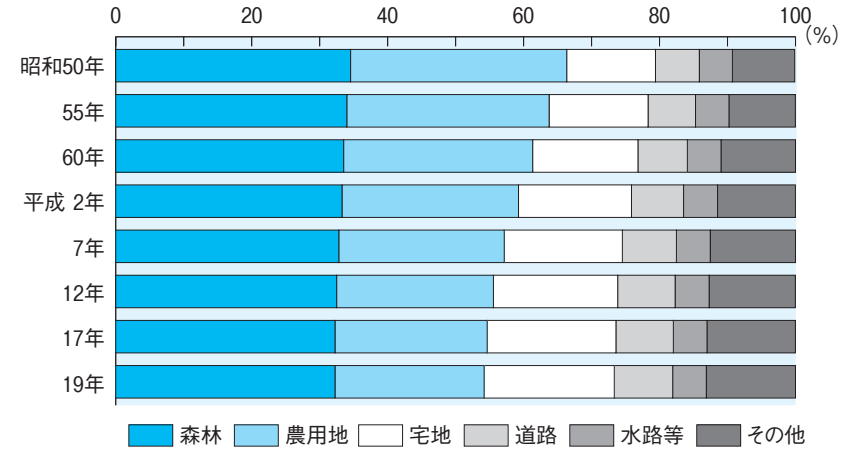
2 面積

単 位	*1 総面積 (北方地域及び 竹島を含む)		*2 総面積1km ² 当たり 人口密度		*3 総面積中の人口集中 地区面積割合		*4 総面積中の 可住地面積割合	
	km ²	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	377 914.78		342.7		3.32		32.6	
北海道	83 455.73	1	71.8	47	0.96	43	27.9	31
青森県	9 606.88	8	149.5	40	1.65	34	33.4	22
岩手県	15 278.71	2	90.7	46	0.56	47	24.3	40
宮城県	7 285.60	16	324.0	19	3.22	17	43.0	14
秋田県	11 612.22	6	98.6	45	0.75	45	27.2	33
山形県	9 323.39	9	130.4	42	1.22	42	30.6	27
福島県	13 782.75	3	151.7	39	1.30	40	30.6	27
茨城県	6 095.68	24	488.1	12	3.82	13	65.2	4
栃木県	6 408.28	20	314.7	22	2.84	21	46.0	12
群馬県	6 363.16	21	318.1	21	3.11	19	36.1	17
埼玉県	3 797.30	39	1 857.7	4	17.83	4	67.6	2
千葉県	5 156.68	28	1 174.5	6	12.06	6	67.6	2
東京都	2 186.96	45	5 750.7	1	48.91	1	63.8	5
神奈川県	2 415.84	43	3 639.1	3	39.04	3	60.4	6
新潟県	12 583.32	5	193.2	34	1.80	30	35.6	18
富山県	4 247.39	33	261.7	25	2.37	26	43.6	13
石川県	4 185.46	35	280.5	23	2.49	25	33.0	23
福井県	4 189.25	34	196.1	32	1.78	32	25.5	36
山梨県	4 465.37	32	198.1	31	1.43	36	21.3	44
長野県	13 562.23	4	161.9	38	1.30	40	24.4	39
岐阜県	10 621.17	7	198.4	30	1.68	33	20.4	45
静岡県	7 780.03	13	487.5	13	5.34	11	35.1	20
愛知県	5 164.02	27	1 404.9	5	17.38	5	57.3	7
三重県	5 776.68	25	323.2	20	3.12	18	35.0	21
滋賀県	4 017.36	38	343.6	17	2.55	24	31.6	25
京都府	4 613.00	31	574.0	10	5.58	9	25.0	37
大阪府	1 894.31	46	4 654.6	2	47.61	2	69.5	1
兵庫県	8 394.92	12	666.0	8	6.71	8	32.9	24
奈良県	3 691.09	40	385.1	14	3.80	14	23.0	43
和歌山県	4 726.08	30	219.2	29	1.93	29	23.3	42
鳥取県	3 507.25	41	173.1	37	1.35	39	26.0	35
島根県	6 707.56	19	110.7	44	0.63	46	18.7	46
岡山県	7 112.73	17	275.2	24	2.78	22	31.1	26
広島県	8 477.92	11	339.3	18	3.62	15	26.6	34
山口県	6 111.91	23	244.2	28	3.39	16	28.7	30
徳島県	4 145.33	36	195.4	33	1.36	38	24.7	38
香川県	1 876.41	47	539.5	11	4.11	12	52.9	10
愛媛県	5 677.12	26	258.5	26	2.66	23	29.4	29
高知県	7 105.01	18	112.1	43	0.81	44	16.4	47
福岡県	4 976.12	29	1 014.8	7	11.25	7	55.1	8
佐賀県	2 439.58	42	355.1	16	2.12	27	54.9	9
長崎県	4 094.76	37	361.1	15	2.93	20	39.6	15
熊本県	7 404.83	15	248.8	27	1.99	28	37.1	16
大分県	6 339.32	22	190.8	35	1.79	31	27.9	31
宮崎県	7 734.77	14	149.1	41	1.46	35	23.7	41
鹿児島県	9 187.69	10	190.8	36	1.40	37	35.3	19
沖縄県	2 274.59	44	598.6	9	5.54	10	51.1	11

資料出所
*1~3 「国勢調査」総務省統計局
*4 「社会生活統計指標」総務省統計局

調査時点又は期間
平成17年10月1日
調査周期
5年
毎年

利用形態別土地面積構成比



資料：「埼玉の土地」県土地水政策課

面積は国土の約1%で全国第39位、人口密度は全国第4位

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の本県の面積は3,797.30km²(東西約103km、南北約52km)で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積1km²当たりの人口密度は1,857.7人で、前回調査(平成12年)と同じ全国第4位でした。

また、県内の全ての市と15の町に設定されている人口集中地区が総面積に占める割合は、17.83%で全国第4位でした。

「社会生活統計指標」によると、平成19年10月1日現在の可住地面積の割合は、全国平均の約2倍の67.6%で全国第2位でした。

$$\text{人口集中地区面積割合} = \text{人口集中地区面積} \div \text{総面積} \times 100$$

$$\text{可住地面積割合} = \text{可住地面積} \div \text{北方地域及び竹島を除いた総面積} \times 100$$

※表*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

～みどりと川の再生～

本県には、秩父山地や見沼田んぼ、三富地域など優れた自然環境と、荒川や利根川など多くの河川があります。しかし、1975年に22,190haあった平地林などの身近な緑は、2005年までの30年間に6,514haも失われ、川は未だ「ドブ川」といえる箇所があります。

県では、平成20年4月に自動車税の一部を財源とした「彩の国みどりの基金」を創設するなど、「住みやすく環境にやさしいゆとりの田園都市埼玉」を目指して、「みどりと川の再生」に本気で取り組んでいます。



おしえてコバトン

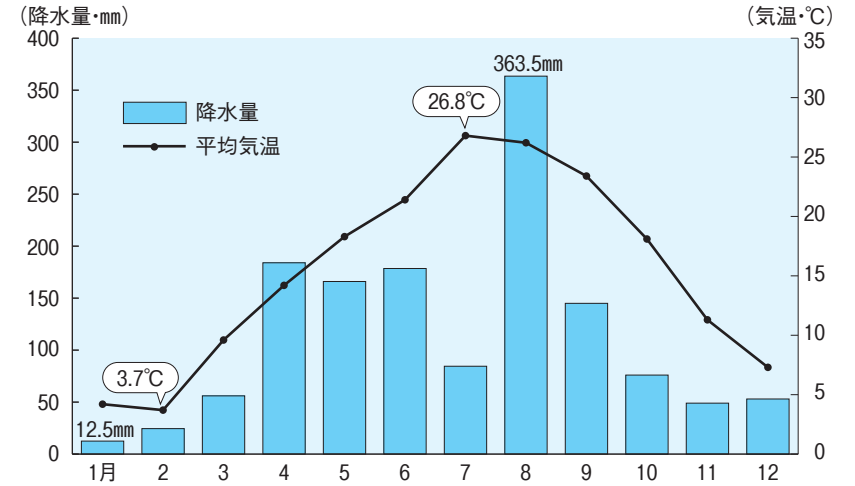
3 気象

単 位	*1 年平均気温		*2 降水量(年間)		*3 日照時間(年間)		*4 快晴日数(年間) 日平均雲量<1.5	
	℃	順位	mm	順位	時間	順位	日	順位
全 国
北海道	9.5	47	843.0	47	1 844.5	31	21	28
青森県	10.7	45	1 085.0	41	1 642.4	45	17	39
岩手県	10.6	46	1 020.5	44	1 775.2	36	12	44
宮城県	12.7	41	1 349.0	30	1 713.4	41	13	42
秋田県	12.3	42	1 256.0	34	1 593.5	47	12	44
山形県	12.0	44	1 158.0	37	1 622.7	46	15	41
福島県	13.2	40	1 082.5	42	1 664.9	44	18	37
茨城県	13.9	39	1 181.0	36	1 900.3	25	37	8
栃木県	14.3	37	1 596.5	21	1 892.3	27	31	13
群馬県	14.9	31	1 425.0	28	2 106.0	9	36	10
埼玉県	15.4	27	1 392.5	29	2 052.8	13	53	2
千葉県	16.1	23	1 639.0	18	1 873.2	29	48	3
東京都	16.4	18	1 857.5	11	1 857.8	30	37	8
神奈川県	16.1	23	1 919.0	8	1 957.4	24	32	12
新潟県	14.2	38	1 530.0	23	1 732.0	39	13	42
富山県	14.6	36	2 060.5	5	1 697.1	43	19	34
石川県	14.9	31	1 859.0	10	1 771.3	37	23	23
福井県	14.7	35	1 964.5	6	1 703.8	42	18	37
山梨県	14.8	34	1 095.5	39	2 224.7	1	42	4
長野県	12.2	43	854.5	46	2 029.5	17	17	39
岐阜県	16.2	22	1 632.5	19	2 141.4	4	39	7
静岡県	16.7	14	1 955.5	7	2 108.2	8	41	5
愛知県	16.4	18	1 579.5	22	2 132.9	6	22	24
三重県	16.3	21	1 703.0	15	2 098.9	11	26	19
滋賀県	15.0	29	1 474.0	25	1 893.4	26	29	15
京都府	16.0	25	1 430.5	27	1 816.3	33	19	34
大阪府	17.0	8	1 262.5	33	2 030.0	16	19	34
兵庫県	17.0	8	1 041.0	43	2 114.4	7	21	28
奈良県	14.9	31	1 300.5	32	1 778.0	35	21	28
和歌山県	16.7	14	1 247.0	35	2 040.6	15	25	20
鳥取県	15.0	29	1 900.0	9	1 735.6	38	20	33
島根県	15.1	28	1 477.5	24	1 731.9	40	11	46
岡山県	16.6	17	951.5	45	2 022.2	19	30	14
広島県	16.4	18	1 148.5	38	2 100.7	10	24	22
山口県	15.8	26	1 691.0	16	1 958.4	23	25	20
徳島県	16.8	10	1 445.5	26	2 141.1	5	22	24
香川県	16.8	10	1 086.5	40	2 016.9	20	21	28
愛媛県	16.7	14	1 315.0	31	2 079.8	12	22	24
高知県	17.3	4	2 230.5	4	2 182.7	2	35	11
福岡県	17.1	7	1 780.5	14	1 840.2	32	21	28
佐賀県	16.8	10	1 825.5	13	1 992.8	21	40	6
長崎県	17.3	4	1 840.0	12	1 876.8	28	22	24
熊本県	17.2	6	2 353.0	2	2 026.3	18	27	17
大分県	16.8	10	1 655.5	17	2 042.3	14	27	17
宮崎県	17.4	3	2 796.5	1	2 143.7	3	58	1
鹿児島県	18.7	2	2 345.5	3	1 973.4	22	28	16
沖縄県	23.4	1	1 621.0	20	1 815.1	34	9	47

資料出所 *1~4「気象庁年報」気象庁

調査時点又は期間 調査周期
平成20年 毎年

月別平均気温・降水量(平成20年・熊谷)



資料：「気象庁年報」気象庁

夏は高温多湿、冬は低温乾燥

本県の気候は、夏は高温多湿で雷が多く、冬は低温乾燥で北西の季節風が強い内陸性の太平洋側気候です。地域別に気温の特徴をみると、北部から南部の東側にかけては、夏の気温が県内でも高い地域となっています。平成19年8月16日には多治見(岐阜県)とともに熊谷で、これまでの国内最高気温の記録を74年ぶりに更新する40.9℃が観測されました。一方、秩父地方の盆地では、冬の夜間の冷え込みが強く、昭和29年に-15.8℃の県内最低記録が観測されました。

年間快晴日数53日で全国第2位

「気象庁年報」によると、平成20年の熊谷地方気象台観測の年平均気温は、平年値より0.8℃高い15.4℃、最高気温は8月8日の37.3℃、最低気温は1月28日の-3.5℃でした。

また、年間降水量は平年値より149.3mm多い1,392.5mmで、日最大降水量は8月28日の111.5mmでした。日照時間は平年値より45.6時間多い2,052.8時間となり、快晴日数は前年と同じ53日で、全国第2位でした。

※表*1~4の都道府県値は、原則として各都道府県庁所在市の観測地点によりますが、埼玉県は熊谷、滋賀県は彦根の値としました。

※表*3中の「】」は、参考値です。

～埼玉県の暑いデータ～

世界的に温暖化が進む中、埼玉県の気温も上昇傾向にあります。熊谷地方気象台観測開始(明治29年12月1日)から平成20年10月1日までの、県内の各観測点の最高気温をまとめました。

さいたま	38.7℃(平成9年7月5日)	越谷	40.4℃(平成19年8月16日)
所沢	39.6℃(平成9年7月6日)	寄居	39.5℃(平成19年8月15日)
熊谷	40.9℃(平成19年8月16日)	久喜	38.9℃(平成19年8月16日)
秩父	39.3℃(平成6年8月7日)	鳩山	39.9℃(平成9年7月5日)

資料：熊谷地方気象台HP



おしえてコバトン

4 自然災害

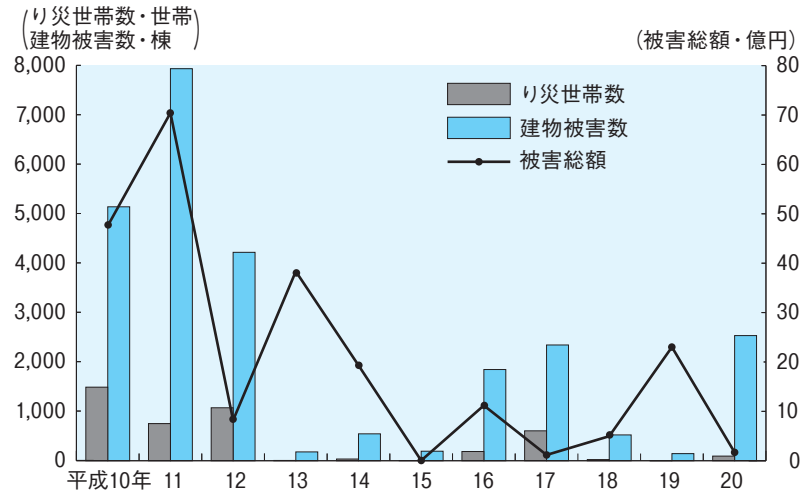
自然災害被害状況

単 位	*1 り災世帯数		*2 り災者数		*3 住家被害		*4 消防職員・団員 出動延人数	
	世帯	順位	人	順位	棟	順位	人	順位
全 国	4 984		12 090		41 238		83 648	
北海道	23 21		62 18		229 27		1 540 20	
青森県	4 27		10 27		192 30		1 292 22	
岩手県	8 25		25 25		1 016 8		16 818 1	
宮城県	169 4		529 4		2 061 5		5 784 3	
秋田県	2 31		8 28		105 35		1 109 24	
山形県	1 34		1 37		114 34		1 977 14	
福島県	19 23		42 22		325 22		1 979 13	
茨城県	74 11		299 7		396 20		1 784 17	
栃木県	25 20		56 21		750 11		4 710 4	
群馬県	36 17		60 20		443 16		370 29	
埼玉県	94 10		243 9		2 530 3		756 25	
千葉県	119 8		243 9		1 135 6		1 906 15	
東京都	130 7		294 8		612 12		344 30	
神奈川県	- 39		- 39		315 23		1 671 19	
新潟県	28 19		92 16		226 28		2 714 8	
富山県	134 6		362 6		954 9		3 275 7	
石川県	522 2		1 317 2		2 093 4		1 711 18	
福井県	3 28		4 33		4 46		26 37	
山梨県	- 39		- 39		2 47		- 41	
長野県	2 31		6 29		99 36		- 41	
岐阜県	137 5		379 5		434 17		1 162 23	
静岡県	60 13		166 12		533 14		385 28	
愛知県	2 666 1		6 437 1		16 693 1		8 729 2	
三重県	6 26		12 26		151 32		2 046 12	
滋賀県	- 39		- 39		274 24		- 41	
京都府	22 22		37 23		769 10		1 418 21	
大阪府	344 3		697 3		4 131 2		196 34	
兵庫県	3 28		5 30		79 37		- 41	
奈良県	2 31		5 30		218 29		5 39	
和歌山県	33 18		70 17		528 15		- 41	
鳥取県	- 39		- 39		18 43		107 36	
島根県	1 34		2 35		5 45		1 40	
岡山県	- 39		- 39		40 39		17 38	
広島県	- 39		- 39		1 073 7		310 32	
山口県	- 39		- 39		23 42		191 35	
徳島県	1 34		2 35		245 26		1 849 16	
香川県	- 39		- 39		254 25		200 33	
愛媛県	3 28		5 30		33 40		4 059 6	
高知県	39 15		99 14		142 33		- 41	
福岡県	11 24		27 24		49 38		2 647 9	
佐賀県	- 39		- 39		543 13		501 27	
長崎県	1 34		3 34		24 41		- 41	
熊本県	46 14		93 15		406 19		2 481 10	
大分県	1 34		1 37		8 44		737 26	
宮崎県	37 16		61 19		431 18		4 312 5	
鹿児島県	64 12		128 13		377 21		2 213 11	
沖縄県	114 9		208 11		156 31		316 31	

資料出所
*1~4 「消防白書」消防庁HP

調査時点又は期間
平成20年

調査周期
毎年



資料：「消防白書」消防庁

県内で震度4を観測した地震は2回

「地震・火山月報(防災編)」によると、平成20年に国内で被害を伴った地震は8回で、死者・行方不明者を伴う地震は6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」と、7月24日に発生した岩手県沿岸北部の地震の2回でした。

本県の観測点で観測した震度1以上の地震は80回で、最大の震度は震度4(4月4日と5月8日)でした。

気象庁によると、平成20年中に発生した台風の数(平成20年)は22個(平成20年)で平成を下回り、日本に上陸した台風(平成20年)はありませんでした。しかし、7、8月に上空の寒気や湿った気流などにより、各地で局地的な大雨がたびたび発生し、特に「平成20年8月末豪雨」では、中国地方から東北地方にかけての広い範囲で家屋の浸水など大きな被害が出ました。

家屋の浸水被害が大幅増加

「消防白書」によると、平成20年の自然災害によるり災世帯数は94世帯、り災者数は243人、被害総額は1億6,965万円でした。

主な被害の内容は、重傷者1人、軽傷者13人、住家の一部破損14棟、床上浸水155棟、床下浸水2,361棟、河川の被害7か所、田の冠水103ha、畑の冠水1.8haでした。被害報告のあった災害に出動した消防職員及び消防団員の出動延人数は、前年より856人減少し、756人でした。

※表*3は、全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水の被害のあった住家の合計です。

～埼玉県に大きな被害を及ぼした台風～

◆カスリーン台風：昭和22(1947)年9月15日

関東地方を襲ったカスリーン台風と前線の影響で、秩父に611mmの大雨が降ったため、現大利根町で利根川の堤防が400mにわたって決壊し、荒川も熊谷市で100mが決壊するなど、県内124か所で堤防が決壊しました。このため県内のいたるところで、大洪水となりました。

埼玉県の被害状況 死者86人、行方不明者10人、負傷者1,394人、家屋浸水87,944戸

「埼玉県特別機動援助隊(愛称:埼玉 SMART)」は、高度な資機材を装備し、特別の教育・訓練を受けた消防本部の機動救助隊、埼玉県防災航空隊、埼玉 DMAT(災害派遣医療チーム)で編成されています。県内で災害が発生した場合は、迅速に災害現場に出動して救助・救命活動を行います。



おしえてコバトン

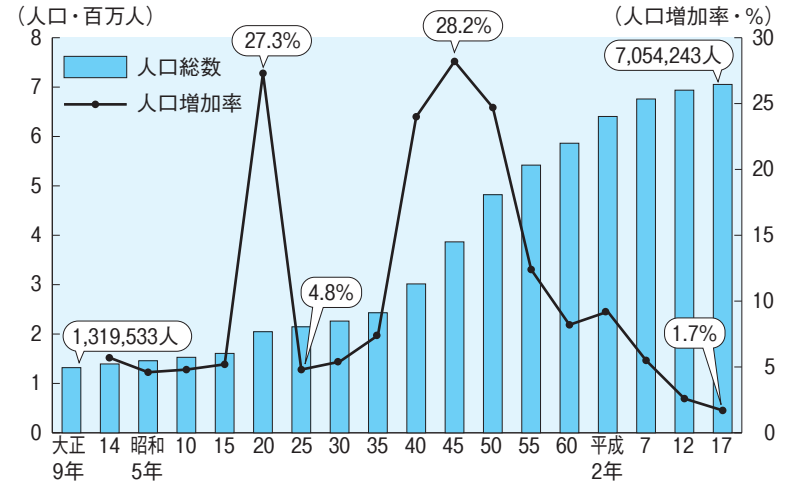
5 総人口

単 位	*1 人口総数		*2 男		*3 女		*4 外国人	
	人	順位	人	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 767 994		62 348 977		65 419 017		1 555 505	
北海道	5 627 737	7	2 675 033	8	2 952 704	7	15 650	19
青森県	1 436 657	28	679 077	29	757 580	28	3 930	42
岩手県	1 385 041	30	663 580	32	721 461	30	5 367	37
宮城県	2 360 218	15	1 149 172	15	1 211 046	15	11 851	23
秋田県	1 145 501	37	540 539	37	604 962	37	3 635	44
山形県	1 216 181	33	585 023	33	631 158	34	6 383	34
福島県	2 091 319	18	1 016 724	18	1 074 595	18	10 065	27
茨城県	2 975 167	11	1 479 941	11	1 495 226	11	37 301	11
栃木県	2 016 631	20	1 002 114	19	1 014 517	21	26 322	17
群馬県	2 024 135	19	996 346	20	1 027 789	19	34 934	13
埼玉県	7 054 243	5	3 554 843	5	3 499 400	5	80 035	6
千葉県	6 056 462	6	3 029 486	6	3 026 976	6	73 116	7
東京都	12 576 601	1	6 264 895	1	6 311 706	1	248 363	1
神奈川県	8 791 597	3	4 444 555	2	4 347 042	3	115 412	4
新潟県	2 431 459	14	1 176 919	14	1 254 540	14	10 861	24
富山県	1 111 729	38	535 617	38	576 112	38	10 587	29
石川県	1 174 026	35	567 060	35	606 966	36	7 654	29
福井県	821 592	43	397 271	43	424 321	44	10 803	25
山梨県	884 515	41	433 569	41	450 946	42	13 564	21
長野県	2 196 114	16	1 068 203	16	1 127 911	16	34 764	14
岐阜県	2 107 226	17	1 020 570	17	1 086 656	17	36 793	12
静岡県	3 792 377	10	1 868 458	10	1 923 919	10	70 721	8
愛知県	7 254 704	4	3 638 994	4	3 615 710	4	150 115	3
三重県	1 866 963	22	907 214	22	959 749	23	34 249	15
滋賀県	1 380 361	31	681 474	28	698 887	31	22 750	18
京都府	2 647 660	13	1 272 993	13	1 374 667	13	46 044	9
大阪府	8 817 166	2	4 280 622	3	4 536 544	2	175 766	2
兵庫県	5 590 601	8	2 680 288	7	2 910 313	8	85 943	5
奈良県	1 421 310	29	676 375	30	744 935	29	8 848	28
和歌山県	1 035 969	39	488 022	39	547 947	39	5 021	38
鳥取県	607 012	47	290 190	47	316 822	47	3 853	43
島根県	742 223	46	353 703	46	388 520	46	4 464	40
岡山県	1 957 264	21	938 600	21	1 018 664	20	14 796	20
広島県	2 876 642	12	1 390 190	12	1 486 452	12	27 178	16
山口県	1 492 606	25	703 721	25	788 885	25	12 461	22
徳島県	809 950	44	384 635	44	425 315	43	4 206	41
香川県	1 012 400	40	486 108	40	526 292	40	6 008	35
愛媛県	1 467 815	27	691 677	26	776 138	27	6 773	32
高知県	796 292	45	374 435	45	421 857	45	2 927	47
福岡県	5 049 908	9	2 394 094	9	2 655 814	9	38 449	10
佐賀県	866 369	42	408 230	42	458 139	41	3 321	45
長崎県	1 478 632	26	691 444	27	787 188	26	5 675	36
熊本県	1 842 233	23	866 916	23	975 317	22	6 651	33
大分県	1 209 571	34	569 796	34	639 775	33	6 871	31
宮崎県	1 153 042	36	542 113	36	610 929	35	3 222	46
鹿児島県	1 753 179	24	819 646	24	933 533	24	4 906	39
沖縄県	1 361 594	32	668 502	31	693 092	32	6 897	30

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

人口と人口増加率(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料：「国勢調査」総務省統計局

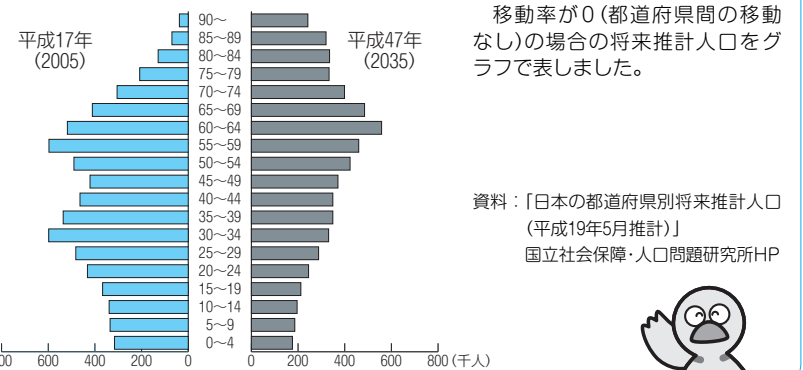
人口増加率は過去最低

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の人口は、前回調査(平成12年)より116,237人増加し、7,054,243人(男性3,554,843人、女性3,499,400人)で全国第5位でした。本県の人口は、大正9年の第1回調査から増加が続いていますが、増加率は過去最低の1.7%でした。女性100人に対する男性の数を表す人口性比を都道府県別にみると、神奈川県が102.2、次いで本県が101.6、愛知県が100.6、千葉県が100.1と4県で男性人口が女性人口を上回っています。

県内在住外国人の割合が上昇

県内に在住する外国人は80,035人で、前回調査に比べて17,624人(28.2%)増加しました。この結果、本県の総人口に占める外国人の割合は、前回調査より0.24ポイント上昇して1.13%となりました。

~どうなってるかな? 埼玉県の将来推計人口~



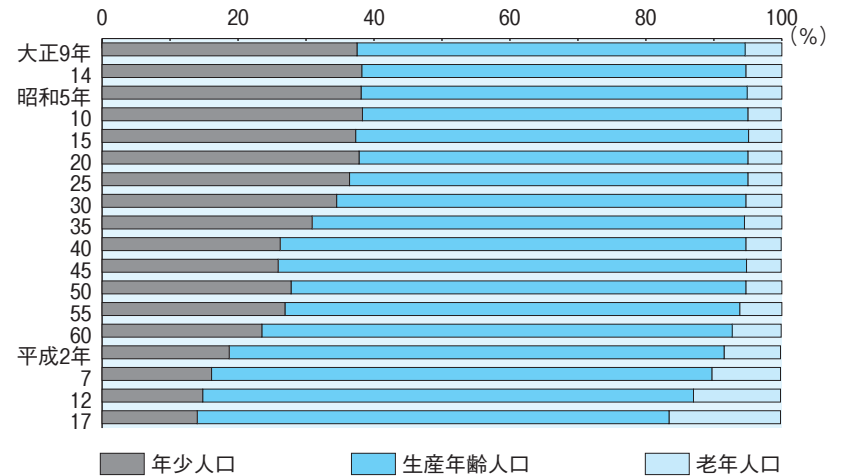
6 人口(年齢3区分別)

単 位	*1 年少人口 (0~14歳)		*2 生産年齢人口 (15~64歳)		*3 老年人口 (65歳以上)		*4 生産年齢 人口割合	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	17 521 234		84 092 414		25 672 005		65.8	
北海道	719 057	8	3 696 064	7	1 205 692	5	65.7	14
青森県	198 959	29	910 856	30	326 562	29	63.4	24
岩手県	190 578	32	850 253	32	339 957	28	61.4	42
宮城県	325 829	15	1 558 087	14	470 512	17	66.0	12
秋田県	142 507	39	694 288	38	308 193	31	60.6	46
山形県	166 653	34	739 030	35	309 913	30	60.8	45
福島県	307 294	17	1 307 734	20	474 860	16	62.5	30
茨城県	422 913	11	1 974 159	11	576 272	13	66.4	8
栃木県	285 245	20	1 336 513	18	390 896	24	66.3	10
群馬県	291 995	19	1 314 259	19	416 909	22	64.9	18
埼玉県	986 361	5	4 892 253	5	1 157 006	6	69.4	1
千葉県	819 348	6	4 154 600	6	1 060 343	8	68.6	4
東京都	1 424 667	1	8 695 592	1	2 295 527	1	69.1	3
神奈川県	1 184 631	3	6 088 141	2	1 480 262	3	69.2	2
新潟県	330 302	14	1 514 869	15	580 739	12	62.3	32
富山県	149 545	37	702 924	37	258 317	35	63.2	25
石川県	166 175	35	761 257	33	245 739	38	64.8	19
福井県	120 745	43	513 858	43	185 501	46	62.5	29
山梨県	127 627	42	562 495	41	193 580	45	63.6	23
長野県	316 368	16	1 356 317	17	521 984	15	61.8	40
岐阜県	305 845	18	1 357 583	16	442 124	18	64.4	21
静岡県	536 799	10	2 471 335	10	779 193	10	65.2	17
愛知県	1 069 498	4	4 901 072	4	1 248 562	4	67.6	5
三重県	266 741	22	1 197 255	22	400 647	23	64.1	22
滋賀県	213 147	27	916 572	27	249 418	37	66.4	7
京都府	345 071	13	1 755 447	13	530 350	14	66.3	9
大阪府	1 211 257	2	5 913 558	3	1 634 218	2	67.1	6
兵庫県	793 885	7	3 667 475	8	1 108 564	7	65.6	15
奈良県	197 136	30	938 702	25	283 528	33	66.0	11
和歌山県	142 670	38	642 428	39	249 473	36	62.0	34
鳥取県	84 823	47	375 539	47	146 113	47	61.9	36
島根県	100 542	46	439 471	46	201 103	42	59.2	47
岡山県	275 743	21	1 236 318	21	438 054	19	63.2	26
広島県	403 271	12	1 858 849	12	600 545	11	64.6	20
山口県	196 729	31	920 531	26	373 346	25	61.7	41
徳島県	105 814	44	506 642	44	197 313	43	62.6	28
香川県	139 505	40	635 746	40	235 508	39	62.8	27
愛媛県	200 270	28	914 747	28	351 990	26	62.3	31
高知県	102 421	45	487 367	45	206 375	41	61.2	43
福岡県	701 195	9	3 326 610	9	997 798	9	65.9	13
佐賀県	131 969	41	537 864	42	196 108	44	62.1	33
長崎県	215 987	26	913 224	29	348 820	27	61.8	39
熊本県	264 013	23	1 139 125	23	437 244	20	61.8	37
大分県	164 541	36	748 872	34	292 805	32	61.9	35
宮崎県	169 075	33	712 527	36	270 586	34	61.8	38
鹿児島県	252 285	25	1 065 960	24	434 559	21	60.8	44
沖縄県	254 203	24	888 046	31	218 897	40	65.2	16

資料出所 *1~4「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

年齢3区分別人口構成比(各年10月1日)



注)昭和20年は11月1日現在で行われた人口調査による人口。
資料:「国勢調査」総務省統計局

減少する年少人口割合

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の年齢で3区分した人口は、年少人口は986,361人(本県の総人口の14.0%)、生産年齢人口は4,892,253人(同69.4%)、老年人口は1,157,006人(同16.4%)でした。

年少人口は前回調査(平成12年)より38,426人減少し、昭和45年以降初めて100万人を割り込み、総人口に占める割合も大正9年の第1回調査以来、最も低くなりました。

生産年齢人口割合全国第1位

生産年齢人口についても第1回調査以降初めて減少(前回調査比118,949人減)しました。また、総人口に占める割合は前回調査より2.8ポイント低下したものの、前回調査に続き全国第1位でした。

増加する老年人口割合

老年人口は、前回調査より267,763人増加し、総人口に占める割合も3.6ポイント上昇しました。前回調査の老年人口の割合は全国第47位でしたが、今回、沖縄県を上回り全国第46位でした。

※表*4の順位は、総務省統計局公表の順位です。

~「埼玉県の人口を教えてください」~

「人口は、時点の違いや調査等の違いで変わります。」

- ・国勢調査 全数調査で、5年に1度、10月1日現在の人口を公表。
総数=日本人+外国人
- ・人口推計 国勢調査人口を基礎にして、それ以降の人口増減を住民基本台帳及び外国人登録から調査し加減したものの。毎月1日現在の推計人口を月末に公表。
総数=日本人+外国人
- ・住民基本台帳人口 各市町村に備え付けてある住民基本台帳に記録されている人口。毎年3月31日現在の人口を公表。総数=日本人
- ・埼玉県町(丁)字別人口 住民基本台帳及び外国人登録から各市町村の協力を得て把握した人口。毎年1月1日午前零時現在の結果を公表。



おしえてコバトン

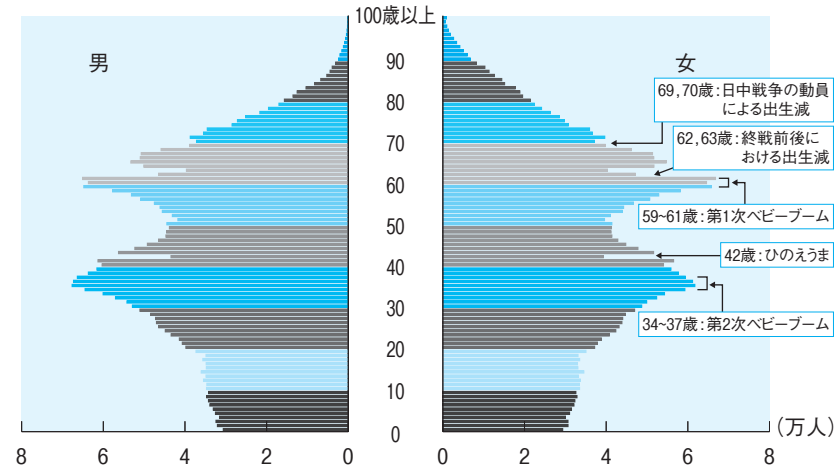
7 年 齢

単 位	*1 平均年齢		*2 年齢中位数		*3 平均寿命(男)		*4 平均寿命(女)	
	歳	順位	歳	順位	年	順位	年	順位
	全 国	43.3		43.3		78.79		85.75
北海道	44.4	21	45.4	21	78.30	33	85.78	25
青森県	44.7	18	46.3	18	76.27	47	84.80	47
岩手県	45.4	8	47.1	8	77.81	45	85.49	37
宮城県	42.8	39	42.8	38	78.60	27	85.75	26
秋田県	47.1	1	49.8	1	77.44	46	85.19	45
山形県	45.8	5	47.6	5	78.54	28	85.72	27
福島県	44.2	23	45.4	21	77.97	42	85.45	39
茨城県	43.1	35	43.5	34	78.35	30	85.26	43
栃木県	43.1	35	43.5	34	78.01	40	85.03	46
群馬県	43.6	30	44.0	31	78.78	22	85.47	38
埼玉県	41.8	43	41.2	42	79.05	15	85.29	42
千葉県	42.4	42	42.0	40	78.95	18	85.49	36
東京都	42.8	39	41.2	42	79.36	5	85.70	28
神奈川県	41.8	43	40.6	45	79.52	3	86.03	18
新潟県	45.2	12	46.7	12	78.75	23	86.27	9
富山県	45.3	11	46.6	13	79.07	12	86.32	7
石川県	43.7	29	44.1	28	79.26	8	86.46	6
福井県	44.3	22	45.1	24	79.47	4	86.25	11
山梨県	43.9	25	44.2	26	78.89	21	86.17	12
長野県	44.9	16	45.7	20	79.84	1	86.48	5
岐阜県	43.5	32	44.0	31	79.00	16	85.56	35
静岡県	43.6	30	44.1	28	79.35	6	86.06	16
愛知県	41.5	46	40.5	46	79.05	14	85.40	40
三重県	43.8	27	44.2	26	78.90	20	85.58	34
滋賀県	41.6	45	40.8	44	79.60	2	86.17	13
京都府	43.2	34	42.6	39	79.34	7	85.92	19
大阪府	42.6	41	41.9	41	78.21	36	85.20	44
兵庫県	43.1	35	43.1	36	78.72	24	85.62	33
奈良県	43.4	33	43.9	33	79.25	9	85.84	24
和歌山県	45.5	7	47.1	8	77.97	41	85.34	41
鳥取県	45.1	13	46.6	13	78.26	34	86.27	8
島根県	46.7	2	49.2	2	78.49	29	86.57	2
岡山県	44.2	23	44.9	25	79.22	11	86.49	4
広島県	43.8	27	44.1	28	79.06	13	86.27	10
山口県	46.1	4	48.5	4	78.11	38	85.63	32
徳島県	45.6	6	47.4	6	78.09	39	85.67	30
香川県	45.0	15	46.4	17	78.91	19	85.89	20
愛媛県	45.4	8	47.0	10	78.25	35	85.64	31
高知県	46.5	3	48.7	3	77.93	44	85.87	21
福岡県	42.9	38	42.9	37	78.35	31	85.84	23
佐賀県	43.9	25	45.2	23	78.31	32	86.04	17
長崎県	44.8	17	46.5	16	78.13	37	85.85	22
熊本県	44.7	18	46.0	19	79.22	10	86.54	3
大分県	45.4	8	47.3	7	78.99	17	86.06	15
宮崎県	44.7	18	46.6	13	78.62	26	86.11	14
鹿児島県	45.1	13	46.8	11	77.97	43	85.70	29
沖縄県	39.1	47	37.9	47	78.64	25	86.88	1

資料出所
*1,2 「国勢調査」総務省統計局
*3,4 「都道府県別生命表」厚生労働省

調査時点又は期間
平成17年10月1日
平成17年

人口ピラミッド(平成21年1月1日現在)



資料: 「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」県統計課

全国で4番目に若い県

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の平均年齢は、前回調査(平成12年)では沖縄県に次いで2番目に若い39.6歳でしたが、前回調査より2.2歳上昇して41.8歳となり、沖縄県、愛知県、滋賀県に続いて全国で4番目に若い県となりました。また、年齢中位数は41.2歳でした。

平均寿命の男女差は全国で最小

「都道府県別生命表」によると、平成17年の国勢調査等を基に算出した本県の平均寿命は男性が79.05年、女性は85.29年で、30年前(昭和50年)よりそれぞれ男性は7.17年、女性は8.68年上昇しました。平均寿命の男女差は6.24年(全国6.95年)で、都道府県の中で最も小さくなりました。

30歳代人口が最多

「埼玉県町(丁)字別人口調査結果」によると、平成21年1月1日現在の人口を年齢階級別にみると、30歳代が1,175,670人で総数の16.3%を占め最も多く、次いで60歳代が1,018,749人で同14.1%、50歳代が979,380人で同13.6%と続いています。

$$\text{平均年齢} = \text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口} \div \text{総人口} + 0.5$$

※表*3,4の順位は、厚生労働省公表の順位です。

～長寿の市町村は?～

平均寿命とは、0歳の平均余命のことを言います。厚生労働省の「平成17年市区町村別生命表」によると、県内で一番平均寿命が長い市町村は、男性は80.4年で所沢市、女性は86.7年で和光市でした。

単位: 年

順位	男	順位	女
1	所 沢 市 80.4	1	和 光 市 86.7
2	和 光 市 80.2	2	三 芳 町 86.6
2	三 芳 町 80.2	3	狭 山 市 86.5
4	狭 山 市 80.0	4	所 沢 市 86.3
4	鳩 山 町 80.0	4	新 座 市 86.3

資料: 「市区町村別生命表」厚生労働省



おしえてコバトン

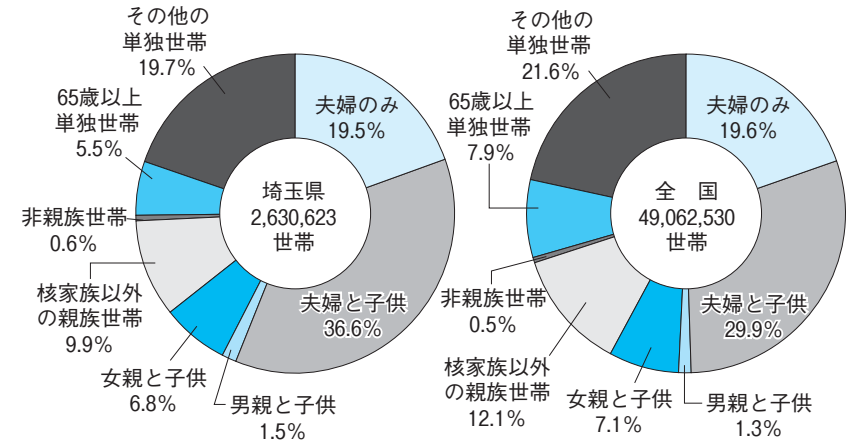
8 世帯

単 位	*1 一般世帯数		*2 1世帯当たり人員 (一般世帯)		*3 核家族世帯割合 (一般世帯)		*4 高齢単身世帯割合 (一般世帯)	
	世帯	順位	人	順位	%	順位	%	順位
全 国	49 062 530		2.55		57.9		7.9	
北海道	2 368 892	6	2.31	46	58.9	18	9.0	15
青森県	509 107	28	2.75	18	54.2	35	8.2	23
岩手県	479 302	31	2.82	12	51.3	43	7.6	26
宮城県	858 628	14	2.70	24	52.8	38	5.9	42
秋田県	391 276	36	2.85	8	51.3	43	8.5	21
山形県	385 416	37	3.09	1	46.8	47	6.5	36
福島県	707 223	21	2.91	7	52.3	39	7.0	32
茨城県	1 029 481	13	2.84	10	58.3	20	5.5	45
栃木県	705 206	22	2.81	13	56.6	30	5.9	42
群馬県	724 121	18	2.75	19	60.1	11	6.7	34
埼玉県	2 630 623	5	2.64	27	64.4	2	5.5	45
千葉県	2 304 321	7	2.58	33	62.1	4	5.9	42
東京都	5 747 460	1	2.13	47	51.0	46	8.7	17
神奈川県	3 549 710	3	2.43	41	61.2	9	6.4	38
新潟県	812 726	15	2.93	5	51.9	41	6.5	36
富山県	370 230	40	2.93	4	53.4	37	6.8	33
石川県	423 157	35	2.70	23	53.9	36	7.1	30
福井県	267 385	45	3.00	2	52.0	40	6.7	34
山梨県	320 170	42	2.71	22	57.6	22	7.5	27
長野県	777 931	16	2.77	16	56.2	31	7.2	29
岐阜県	710 166	20	2.92	6	57.4	24	6.3	39
静岡県	1 346 952	10	2.77	17	56.8	27	6.1	41
愛知県	2 724 476	4	2.62	31	58.8	19	6.2	40
三重県	672 552	23	2.73	21	59.5	14	7.9	24
滋賀県	477 645	32	2.85	9	58.2	21	5.4	47
京都府	1 063 907	12	2.43	42	56.9	26	8.7	17
大阪府	3 590 593	2	2.40	43	60.4	10	9.5	9
兵庫県	2 128 963	8	2.58	34	62.7	3	9.1	13
奈良県	500 994	29	2.78	14	64.9	1	7.4	28
和歌山県	383 214	38	2.65	26	61.9	6	11.2	3
鳥取県	208 526	47	2.83	11	51.7	42	8.3	22
島根県	259 289	46	2.78	15	51.3	43	9.4	10
岡山県	724 474	17	2.63	29	56.8	27	8.7	17
広島県	1 131 024	11	2.47	37	59.6	13	9.1	13
山口県	588 736	25	2.46	40	59.7	12	11.2	3
徳島県	297 539	43	2.64	28	55.6	33	9.4	10
香川県	375 634	39	2.63	30	59.0	17	8.8	16
愛媛県	581 003	26	2.47	39	59.5	14	10.5	6
高知県	323 327	41	2.38	44	56.8	27	12.7	2
福岡県	1 984 662	9	2.47	38	57.2	25	8.7	17
佐賀県	286 239	44	2.94	3	55.2	34	7.9	24
長崎県	551 530	27	2.59	32	59.2	16	10.3	7
熊本県	664 338	24	2.69	25	56.2	31	9.2	12
大分県	465 195	33	2.52	35	57.6	22	10.2	8
宮崎県	449 269	34	2.50	36	61.3	8	10.6	5
鹿児島県	722 937	19	2.35	45	61.4	7	13.4	1
沖縄県	486 981	30	2.74	20	62.1	4	7.1	30

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

家族類型別一般世帯数構成比(平成17年10月1日)



資料：「国勢調査」総務省統計局

増加する世帯数と進む世帯の小規模化

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の総世帯数は2,650,115世帯で、そのうち一般世帯数は2,630,623世帯、施設等の世帯数は2,471世帯でした。一般世帯数は、前回調査(平成12年)と比べると全ての都道府県で増加しており、本県も160,136世帯(6.5%)増加しました。

一般世帯の1世帯当たり人員は2.64人で、全国平均(2.55人)を上回ったものの、前回調査より0.14人減少しました。1世帯当たり人員はすべての都道府県で減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。

核家族世帯割合は全国第2位

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,693,052世帯で一般世帯の64.4%を占めており、この割合は全国第2位でした。また、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は512,288世帯(一般世帯の19.5%)、夫婦と子供から成る世帯は962,808世帯(同36.6%)でした。

高齢単身世帯は、前回調査より47.9%増加して143,923世帯で、一般世帯に占める割合は5.5%でした。

※表*2の順位は、総務省統計局公表の順位です。

◆ 家族類型別一般世帯数 ◆

(単位：世帯・%)

	一般世帯数	親族世帯	うち核家族世帯		非親族世帯	単身世帯	親族世帯に占める核家族世帯の割合	一般世帯に占める核家族世帯の割合
			核家族世帯	その他の親族世帯				
1980	1,578,048	1,326,048	1,071,329		2,573	249,427	80.8	67.9
1985	1,745,952	1,456,147	1,184,422		2,965	286,840	81.3	67.8
1990	2,027,970	1,624,391	1,347,213		5,072	398,507	82.9	66.4
1995	2,278,736	1,782,171	1,502,520		7,761	488,804	84.3	65.9
2000	2,470,487	1,886,856	1,617,277		11,726	571,905	85.7	65.5
2005	2,630,623	1,953,313	1,693,052		14,668	662,642	86.7	64.4

(注)一般世帯=親族世帯+非親族世帯+単身世帯、親族世帯=核家族世帯+その他の親族世帯

資料：「国勢調査」総務省統計局

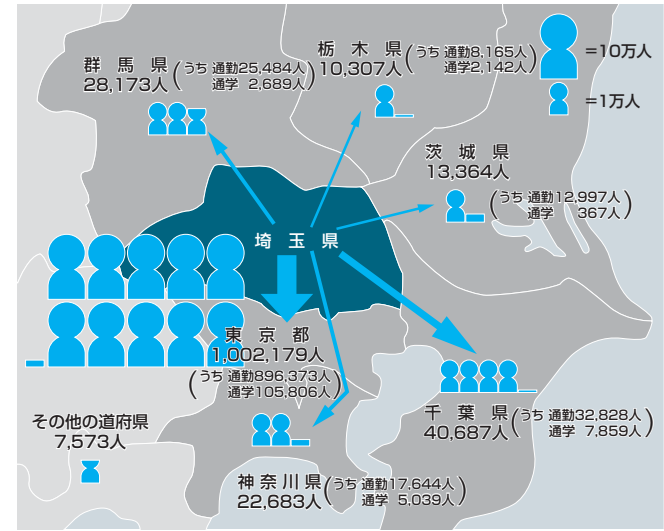
9 昼間人口

単 位	*1 昼間人口		*2 昼夜間人口比率		*3 流入人口		*4 流出人口	
	人	順位	%	順位	人	順位	人	順位
全 国	127 285 653		100.0		5 825 846		5 825 846	
北海道	5 619 202	6	100.0	18	4 119 44	44	5 741 42	42
青森県	1 435 322	28	99.9	23	6 607 41	41	7 675 36	36
岩手県	1 377 316	29	99.7	29	8 601 31	31	12 066 27	27
宮城県	2 356 573	15	100.1	13	21 299 21	21	19 164 25	25
秋田県	1 144 053	37	99.9	24	2 515 45	45	3 452 45	45
山形県	1 214 739	33	99.9	22	4 984 42	42	5 843 41	41
福島県	2 082 022	17	99.6	33	12 275 24	24	20 125 23	23
茨城県	2 885 594	11	97.0	40	77 026 9	9	165 143 9	9
栃木県	1 997 809	20	99.3	36	58 830 11	11	73 852 13	13
群馬県	2 020 684	18	99.9	27	58 670 12	12	61 011 16	16
埼玉県	6 158 964	5	87.5	47	255 851	4	1 124 966	2
千葉県	5 340 259	7	88.5	46	192 383	6	883 987	3
東京都	14 977 580	1	120.6	1	3 026 291	1	481 636	4
神奈川県	7 905 219	3	90.3	44	291 051	3	1 131 345	1
新潟県	2 428 268	14	100.1	11	6 983 38	38	4 618 44	44
富山県	1 107 974	38	99.7	30	6 625 40	40	9 436 31	31
石川県	1 177 115	35	100.3	5	11 927 26	26	8 009 35	35
福井県	821 456	43	100.2	8	6 770 39	39	5 429 43	43
山梨県	875 550	41	99.1	37	10 455 28	28	18 565 26	26
長野県	2 192 533	16	99.9	25	9 503 30	30	11 636 28	28
岐阜県	2 018 595	19	95.9	42	46 488 14	14	133 071 10	10
静岡県	3 783 248	10	99.9	26	34 586 17	17	38 659 18	18
愛知県	7 341 385	4	101.7	3	200 692 5	5	78 788 12	12
三重県	1 824 266	23	97.8	38	30 260 19	19	70 490 14	14
滋賀県	1 327 275	31	96.2	41	43 205 15	15	94 351 11	11
京都府	2 651 073	13	100.8	4	184 210 7	7	165 194 8	8
大阪府	9 241 468	2	105.5	2	740 010 2	2	257 416 6	6
兵庫県	5 298 677	8	95.1	43	133 887 8	8	403 921 5	5
奈良県	1 258 665	32	88.7	45	57 892 13	13	218 864 7	7
和歌山県	1 011 556	40	97.8	39	17 422 22	22	40 924 17	17
鳥取県	607 449	47	100.2	9	8 566 32	32	7 612 37	37
島根県	740 729	46	99.9	20	8 302 35	35	8 684 33	33
岡山県	1 948 832	21	99.9	21	22 174 20	20	23 783 21	21
広島県	2 872 032	12	100.3	6	33 722 18	18	24 263 20	20
山口県	1 482 350	25	99.4	35	14 601 23	23	22 753 22	22
徳島県	807 551	44	99.7	32	4 292 43	43	6 513 40	40
香川県	1 012 636	39	100.2	7	9 898 29	29	8 071 34	34
愛媛県	1 468 813	27	100.1	10	8 465 33	33	6 652 39	39
高知県	795 109	45	99.9	28	2 320 46	46	3 350 46	46
福岡県	5 030 396	9	100.1	12	68 747 10	10	63 892 15	15
佐賀県	866 003	42	100.0	15	36 379 16	16	36 560 19	19
長崎県	1 474 240	26	99.7	31	7 119 37	37	10 907 29	29
熊本県	1 832 633	22	99.6	34	12 220 25	25	19 906 24	24
大分県	1 207 316	34	100.1	14	10 784 27	27	9 655 30	30
宮崎県	1 152 158	36	100.0	16	7 499 36	36	7 527 38	38
鹿児島県	1 752 159	24	100.0	19	8 341 34	34	8 998 32	32
沖縄県	1 360 807	30	100.0	17	1 000 47	47	1 343 47	47

資料出所 *1~4 「国勢調査」総務省統計局

調査時点又は期間 調査周期
平成17年10月1日 5年

県外への通勤・通学者数(平成17年10月1日)



注)15歳以上。年齢不詳者を除く。
資料:「国勢調査」総務省統計局

県外への通勤・通学者は約9割が東京都へ

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の昼間人口は、前回調査(平成12年)より173,467人(2.9%)増加して6,158,964人で、全国第5位でした。一方、常住人口(夜間人口)は7,035,620人でした。昼夜間人口比率は87.5%で、前回調査に続き全国第47位でした。

本県に常住する15歳以上の就業者・通学者は3,910,900人で、そのうち県外に就業・通学している者(流出入口)は、1,124,966人でした。

県外への通勤・通学者は、東京都への1,002,179人(県外への通勤・通学者の89.1%)が最も多く、次いで千葉県への40,687人(同3.6%)、群馬県への28,173人(同2.5%)の順でした。

一方、他都道府県に常住する15歳以上の就業者・通学者のうち、本県に就業・通学している者(流入人口)は、255,851人でした。

県外からの通勤・通学者は、東京都からの146,698人(県外からの通勤・通学者の57.3%)が最も多く、次いで千葉県からの37,447人(同14.6%)、群馬県からの25,548人(同10.0%)の順でした。

～昼間人口とは～

昼間人口 A市の昼間人口=A市の常住人口-A市からの流出入口+A市への流入人口
(買物客など非定期的な移動は含まれない。)

常住人口 調査時期に調査の地域に常住している人口。夜間人口。

昼夜間人口比率 常住人口100人当たりの昼間人口の割合。

$$A \text{ 市の昼夜間人口比率} = \frac{A \text{ 市の昼間人口}}{A \text{ 市の常住人口}} \times 100$$



おしえてコバトン

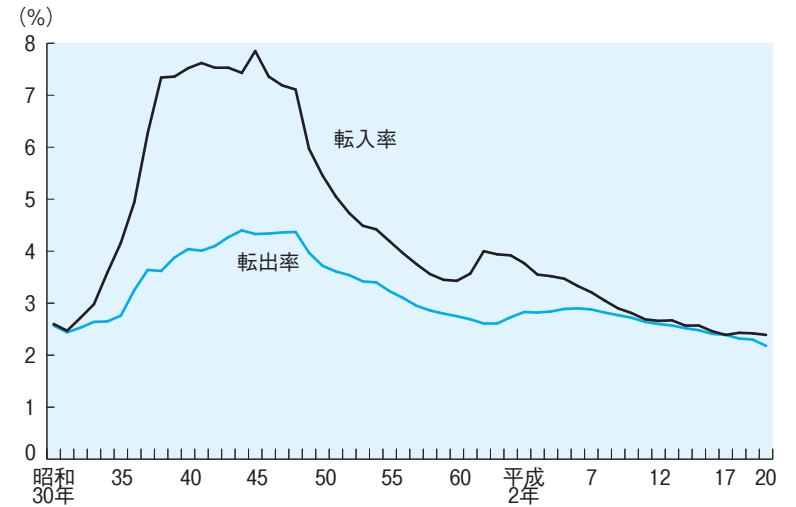
10 転入・転出

単 位	*1 他都道府県からの 転入者数		*2 他都道府県への 転出者数		*3 転入超過数		*4 転入超過率	
	人	順位	人	順位	人	順位	%	順位
全 国	2 508 533		2 508 533		-		-	
北海道	49 497	13	70 626	9	△ 21 129	47	△ 0.38	35
青森県	20 228	33	29 494	28	△ 9 266	46	△ 0.67	47
岩手県	18 091	35	25 002	32	△ 6 911	42	△ 0.51	43
宮城県	49 269	14	54 295	14	△ 5 026	38	△ 0.22	23
秋田県	13 256	39	19 443	37	△ 6 187	40	△ 0.56	44
山形県	14 094	38	19 301	39	△ 5 207	39	△ 0.44	41
福島県	26 653	24	34 937	18	△ 8 284	44	△ 0.41	38
茨城県	52 140	11	54 596	13	△ 2 456	18	△ 0.08	12
栃木県	35 457	15	36 960	16	△ 1 503	11	△ 0.08	12
群馬県	28 777	22	31 147	24	△ 2 370	17	△ 0.12	14
埼玉県	167 624	3	152 752	4	14 872	5	0.21	5
千葉県	166 724	4	142 546	5	24 178	3	0.40	2
東京都	425 661	1	342 661	1	83 000	1	0.66	1
神奈川県	233 616	2	203 970	2	29 646	2	0.34	3
新潟県	24 242	29	30 558	25	△ 6 316	41	△ 0.27	29
富山県	13 170	40	15 322	42	△ 2 152	15	△ 0.20	21
石川県	17 711	36	19 412	38	△ 1 701	12	△ 0.15	18
福井県	9 140	47	11 504	47	△ 2 364	16	△ 0.30	31
山梨県	13 088	41	16 605	40	△ 3 517	26	△ 0.41	38
長野県	28 666	23	33 100	22	△ 4 434	35	△ 0.21	22
岐阜県	29 231	21	33 894	20	△ 4 663	37	△ 0.23	25
静岡県	59 912	9	60 855	10	△ 943	9	△ 0.03	9
愛知県	130 373	6	111 982	6	18 391	4	0.26	4
三重県	32 503	16	32 706	23	△ 203	8	△ 0.01	8
滋賀県	29 395	20	26 520	30	2 875	6	0.21	5
京都府	56 650	10	59 919	11	△ 3 269	24	△ 0.13	15
大阪府	161 589	5	165 157	3	△ 3 568	28	△ 0.04	10
兵庫県	98 104	8	98 218	8	△ 114	7	△ 0.00	7
奈良県	26 269	25	30 461	26	△ 4 192	32	△ 0.30	31
和歌山県	12 350	42	16 134	41	△ 3 784	29	△ 0.38	35
鳥取県	9 327	46	12 212	46	△ 2 885	22	△ 0.49	42
島根県	11 000	43	13 650	44	△ 2 650	19	△ 0.37	34
岡山県	30 671	18	33 362	21	△ 2 691	20	△ 0.14	16
広島県	50 998	12	55 446	12	△ 4 448	36	△ 0.16	20
山口県	25 701	26	29 554	27	△ 3 853	30	△ 0.27	29
徳島県	10 366	44	13 228	45	△ 2 862	21	△ 0.36	33
香川県	19 622	34	21 017	35	△ 1 395	10	△ 0.14	16
愛媛県	20 431	32	23 976	34	△ 3 545	27	△ 0.25	28
高知県	9 828	45	14 149	43	△ 4 321	34	△ 0.56	44
福岡県	103 978	7	107 264	7	△ 3 286	25	△ 0.07	11
佐賀県	17 408	37	19 469	36	△ 2 061	14	△ 0.24	26
長崎県	25 238	27	34 037	19	△ 8 799	45	△ 0.61	46
熊本県	31 442	17	35 409	17	△ 3 967	31	△ 0.22	23
大分県	22 529	30	24 309	33	△ 1 780	13	△ 0.15	18
宮崎県	21 695	31	25 969	31	△ 4 274	33	△ 0.38	35
鹿児島県	29 862	19	37 228	15	△ 7 366	43	△ 0.43	40
沖縄県	24 957	28	28 177	29	△ 3 220	23	△ 0.24	26

資料出所
*1~4 「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

調査時点又は期間
平成20年
調査周期
毎年

転入率と転出率



資料：「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局

3年続く転入超過

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成20年の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者数は167,624人で、前年よりも1,941人減少し、全国第3位でした。内訳は、東京都からの転入が最も多く58,648人、次いで神奈川県から14,483人、千葉県から13,877人の順でした。

また、他都道府県への転出者数は、前年より8,269人減少して152,752人で、全国第4位でした。内訳は、東京都への転出が最も多く58,318人、次いで千葉県へ15,567人、神奈川県へ15,124人の順でした。

転入者数と転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の多い転入超過の状況が続いていましたが、平成17年は51年ぶりに転出者が多い転出超過となりました。しかし、平成18年から再び転入超過となり、平成20年の転入超過数は14,872人で、転入超過率は0.21%でした。

◆ 自然増加の大きい都道府県 ◆

順位	自然増加数(人)	自然増加率(%)
1	神奈川県 15,713	沖縄県 0.52
2	愛知県 15,427	愛知県 0.21
3	埼玉県 8,497	神奈川県 0.18 (0.178)
4	東京都 8,252	滋賀県 0.18 (0.177)
5	沖縄県 7,291	埼玉県 0.12

◆ 社会増加の大きい都道府県 ◆

順位	社会増加数(人)	社会増加率(%)
1	東京都 77,810	東京都 0.62
2	神奈川県 34,327	千葉県 0.47
3	千葉県 28,465	神奈川県 0.39
4	埼玉県 20,436	埼玉県 0.29
5	愛知県 17,179	愛知県 0.24

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成21年3月31日現在)」総務省HP

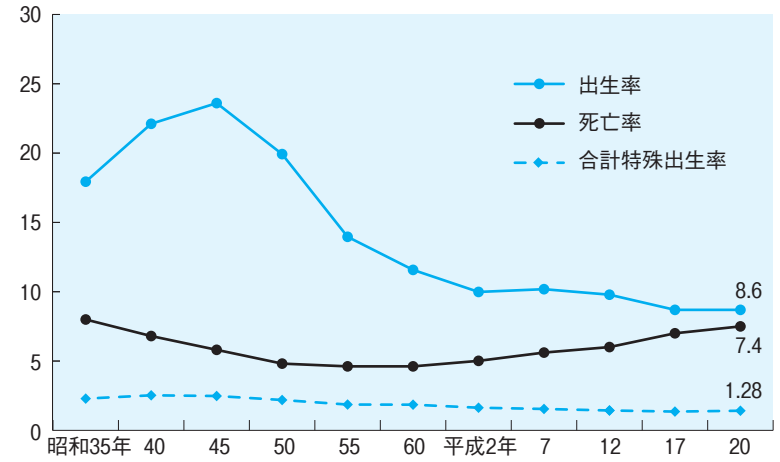
11 出生

出生率・死亡率・合計特殊出生率

単 位	*1 出生数		*2 出生率 (人口千対)		*3 自然増加率 (人口千対)		*4 合計特殊出生率	
	人	順位	—	順位	—	順位	—	順位
全 国	1 091 156		8.7		△ 0.4		1.37	
北海道	41 074	9	7.4	45	△ 2.2	31	1.20	46
青森県	10 187	35	7.3	46	△ 3.8	41	1.30	37
岩手県	10 223	33	7.6	42	△ 3.6	39	1.39	26
宮城県	19 863	14	8.5	24	△ 0.3	11	1.29	39
秋田県	7 421	41	6.7	47	△ 5.6	47	1.32	36
山形県	9 164	36	7.8	40	△ 3.9	44	1.44	15
福島県	16 908	21	8.3	31	△ 2.3	32	1.52	8
茨城県	24 592	12	8.4	30	△ 1.0	17	1.37	31
栃木県	17 240	18	8.7	17	△ 0.6	14	1.42	21
群馬県	17 044	19	8.6	21	△ 1.0	17	1.40	25
埼玉県	60 520	5	8.6	22	1.3	5	1.28	42
千葉県	52 306	6	8.7	18	0.9	6	1.29	40
東京都	106 015	1	8.4	28	0.6	7	1.09	47
神奈川県	79 179	2	9.0	9	1.8	3	1.27	43
新潟県	18 388	15	7.7	41	△ 2.7	35	1.37	30
富山県	8 709	37	8.0	35	△ 2.7	35	1.38	28
石川県	10 199	34	8.8	16	△ 0.7	16	1.41	22
福井県	7 139	42	8.9	12	△ 1.2	21	1.54	6
山梨県	6 908	43	8.1	33	△ 2.1	28	1.35	34
長野県	18 129	16	8.5	26	△ 2.1	28	1.45	12
岐阜県	17 506	17	8.5	25	△ 1.0	17	1.35	33
静岡県	32 701	10	8.8	15	△ 0.5	12	1.44	16
愛知県	71 029	4	9.9	2	2.1	2	1.43	20
三重県	15 633	24	8.6	23	△ 1.2	21	1.38	27
滋賀県	13 487	26	9.8	3	1.7	4	1.45	14
京都府	21 842	13	8.4	29	△ 0.5	12	1.22	45
大阪府	77 400	3	9.0	11	0.5	8	1.28	41
兵庫県	48 833	7	8.9	13	△ 0.0	10	1.34	35
奈良県	10 981	30	7.9	38	△ 1.0	17	1.22	44
和歌山県	7 866	39	7.8	39	△ 3.8	41	1.41	23
鳥取県	4 878	47	8.3	32	△ 3.1	38	1.43	17
島根県	5 685	46	7.9	37	△ 4.6	45	1.51	9
岡山県	17 044	19	8.8	14	△ 1.2	21	1.43	18
広島県	25 560	11	9.0	10	△ 0.6	14	1.45	13
山口県	11 560	29	8.0	36	△ 3.7	40	1.43	19
徳島県	5 893	44	7.5	44	△ 3.8	41	1.30	38
香川県	8 600	38	8.6	20	△ 2.1	28	1.47	11
愛媛県	11 561	28	8.1	34	△ 2.9	37	1.40	24
高知県	5 788	45	7.5	43	△ 4.8	46	1.36	32
福岡県	46 695	8	9.3	4	0.3	9	1.37	29
佐賀県	7 819	40	9.2	5	△ 1.4	24	1.55	5
長崎県	12 173	27	8.5	27	△ 2.5	33	1.50	10
熊本県	16 462	23	9.1	7	△ 1.4	24	1.58	4
大分県	10 306	31	8.6	19	△ 2.0	27	1.53	7
宮崎県	10 292	32	9.1	6	△ 1.4	24	1.60	2
鹿児島県	15 445	25	9.0	8	△ 2.6	34	1.59	3
沖縄県	16 736	22	12.2	1	5.3	1	1.78	1

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期
平成20年 毎年



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP

減少が続く出生数

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成20年の出生数は前年より298人減少して、60,520人(男性30,935人、女性29,585人)で全国第5位でした。出生数は、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後若干の増減はありますが減少傾向にあります。

また、出生率は8.6で、前年の8.7を0.1ポイント下回りました。出生率は第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成元年ころからは10.0前後で推移していましたが、平成13年以降は低下が続き、平成18年は6年ぶりに上昇したものの、平成19年から再び低下しました。

合計特殊出生率は4年連続上昇

自然増加率は1.3で、前年より0.2ポイント低下しました。合計特殊出生率は4年連続で上昇し、前年を0.02ポイント上回り1.28でした。

※表*1~3の全国計は住所が外国の者を含みます。

※表*2~4の比率算出に用いた日本人口は、平成20年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。また、順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

出生率 出生数÷日本人人口×1,000

自然増加率 自然増加数(出生数-死亡数)÷日本人人口×1,000

合計特殊出生率 15~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当する。

~出生率の高い市町村は?~

平成20年の「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、人口千人に対する出生率で最も高率だったのは、朝霞市の11.8、次いで戸田市の11.6、滑川町の10.9でした。低率だったのは鳩山町の3.4、ときがわ町の3.8、東秩父村の3.9でした。



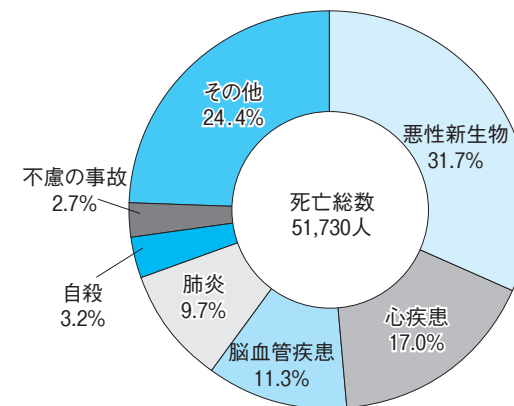
12 死亡

死因別死亡数構成比(平成20年)

単 位	*1 死亡数 (総数)		*2 死亡率 (人口千対)		*3 死亡数 (悪性新生物)		*4 死亡数 (心疾患)	
	人	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	1 142 407		9.1		342 963		181 928	
北海道	52 955	5	9.6	27	16 850	5	8 728	5
青森県	15 400	28	11.1	11	4 646	27	2 403	29
岩手県	15 026	29	11.2	10	4 059	29	2 538	27
宮城県	20 657	17	8.9	38	6 217	15	3 219	18
秋田県	13 638	31	12.3	2	3 929	31	1 986	33
山形県	13 719	30	11.6	6	3 952	30	2 114	31
福島県	21 583	16	10.6	18	5 956	17	3 750	15
茨城県	27 466	11	9.4	32	7 988	12	4 357	12
栃木県	18 437	23	9.3	33	5 248	21	3 081	20
群馬県	18 935	22	9.6	28	5 420	19	3 016	23
埼玉県	51 730	6	7.4	45	16 381	6	8 791	4
千葉県	47 149	8	7.8	43	14 402	8	8 420	6
東京都	98 248	1	7.8	42	31 327	1	15 334	1
神奈川県	63 771	3	7.3	46	20 575	3	9 650	3
新潟県	24 889	13	10.5	21	7 422	13	3 898	14
富山県	11 635	36	10.7	14	3 466	34	1 531	39
石川県	11 012	38	9.5	30	3 288	36	1 763	38
福井県	8 088	46	10.1	24	2 356	46	1 325	46
山梨県	8 736	45	10.2	23	2 462	44	1 392	43
長野県	22 692	15	10.6	16	6 136	16	3 538	16
岐阜県	19 478	19	9.5	31	5 593	18	3 334	17
静岡県	34 511	10	9.3	34	9 884	10	5 408	10
愛知県	56 036	4	7.8	44	17 049	4	8 419	7
三重県	17 904	24	9.8	26	4 925	24	2 875	26
滋賀県	11 110	37	8.1	41	3 282	37	1 862	37
京都府	23 015	14	8.9	37	7 176	14	3 933	13
大阪府	72 930	2	8.4	40	23 999	2	11 622	2
兵庫県	49 074	7	8.9	36	15 260	7	7 811	8
奈良県	12 368	33	8.9	39	3 815	32	2 175	30
和歌山県	11 679	35	11.6	7	3 234	38	1 962	34
鳥取県	6 682	47	11.3	8	1 977	47	1 048	47
島根県	9 011	42	12.5	1	2 545	42	1 393	42
岡山県	19 393	20	10.0	25	5 244	22	3 049	22
広島県	27 150	12	9.6	29	7 994	11	4 410	11
山口県	16 900	25	11.6	5	4 671	26	2 929	25
徳島県	8 882	44	11.2	9	2 357	45	1 438	41
香川県	10 645	39	10.7	15	2 942	39	1 867	36
愛媛県	15 777	26	11.0	12	4 232	28	3 016	23
高知県	9 452	41	12.3	3	2 543	43	1 530	40
福岡県	45 134	9	9.0	35	14 328	9	5 610	9
佐賀県	8 983	43	10.5	19	2 724	40	1 346	45
長崎県	15 697	27	10.9	13	4 747	25	2 408	28
熊本県	18 951	21	10.5	22	5 162	23	3 071	21
大分県	12 641	32	10.6	17	3 530	33	1 998	32
宮崎県	11 932	34	10.5	20	3 405	35	1 931	35
鹿児島県	19 943	18	11.6	4	5 268	20	3 098	19
沖縄県	9 492	40	6.9	47	2 717	41	1 368	44

資料出所
*1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間
平成20年
調査周期
毎年



資料：「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省

死亡数は増加

「人口動態統計(確定数)の概況」及び「埼玉県の人口動態概況(確定数)」によると、平成20年の死亡数は前年より1,596人増加して、51,730人(男性28,731人、女性22,999人)で全国第6位でした。死亡率は7.4で、前年よりも0.2ポイント上昇しました。

昭和56年以降死因第1位は、悪性新生物

死亡数を死因別にみると、悪性新生物が16,381人(死亡総数の31.7%)と最も多く、次いで心疾患8,791人(同17.0%)、脳血管疾患5,841人(同11.3%)、肺炎5,027人(同9.7%)、自殺1,643人(同3.2%)、不慮の事故1,413人(同2.7%)の順でした。

また、年齢階級別の死因別割合をみると、10歳代までは不慮の事故、20歳代、30歳代は自殺、40~80歳代は悪性新生物、90歳以上は心疾患の割合が最も高くなりました。

※表*1~4の全国計は住所が外国・不詳の者を含みます。

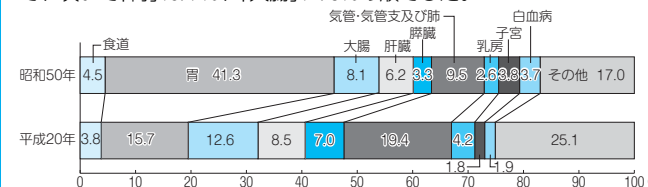
※表*2の順位は、県保健医療政策課公表の順位です。

死亡率 死亡数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成20年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

～悪性新生物の部位別死亡割合～

悪性新生物の部位別死亡割合でもっとも高かったのは、「気管・気管支及び肺」が19.4%で、次いで「胃」15.7%、「大腸」12.6%の順でした。



資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課



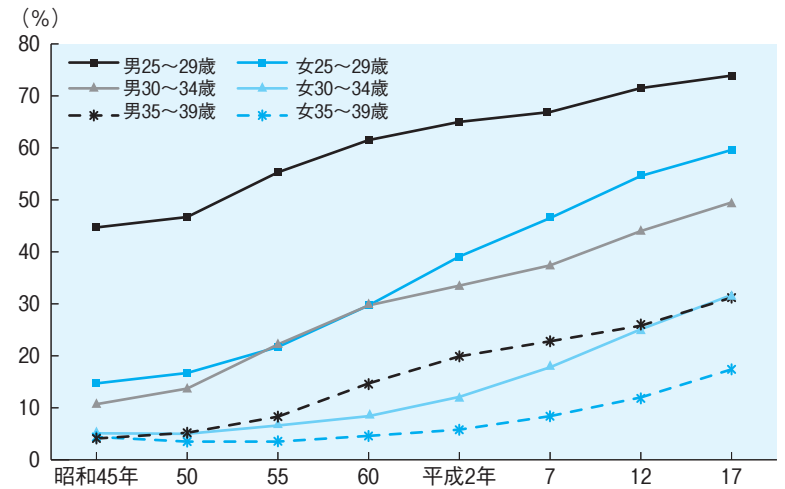
13 婚姻・離婚

単 位	*1 婚姻件数		*2 離婚件数		*3 平均初婚年齢・夫		*4 平均初婚年齢・妻	
	件	順位	件	順位	歳	順位	歳	順位
	全 国	726 106		251 136		30.2		28.5
北海道	29 115	9	12 677	6	29.8	23	28.2	15
青森県	6 401	31	2 828	26	29.8	23	27.9	33
岩手県	6 018	35	2 323	33	29.8	23	27.8	38
宮城県	12 763	14	4 554	14	30.0	15	28.1	19
秋田県	4 555	40	1 823	39	29.8	23	28.0	26
山形県	5 411	36	2 009	36	29.6	34	27.7	43
福島県	10 252	21	3 991	15	29.3	44	27.4	47
茨城県	15 866	12	5 853	11	30.1	10	28.1	19
栃木県	11 198	16	3 963	16	29.9	19	28.0	26
群馬県	10 397	19	3 831	17	30.1	10	28.2	15
埼玉県	40 604	5	14 112	4	30.7	3	28.7	3
千葉県	36 158	6	12 187	7	30.7	3	28.7	3
東京都	91 196	1	26 300	1	31.5	1	29.6	1
神奈川県	56 822	2	18 227	3	31.0	2	29.1	2
新潟県	11 373	15	3 513	21	30.0	15	28.2	15
富山県	5 275	37	1 679	41	30.3	7	28.3	11
石川県	6 141	34	1 900	38	30.1	10	28.3	11
福井県	4 124	43	1 298	45	29.7	30	27.9	33
山梨県	4 392	41	1 742	40	30.7	3	28.6	7
長野県	11 022	17	3 762	18	30.5	6	28.7	3
岐阜県	10 919	18	3 413	24	29.9	19	28.0	26
静岡県	21 193	10	6 959	10	30.0	15	28.1	19
愛知県	47 119	4	13 527	5	30.1	10	28.2	15
三重県	9 937	22	3 402	25	29.8	23	28.0	26
滋賀県	8 080	26	2 427	32	29.9	19	28.1	19
京都府	14 239	13	4 877	13	30.3	7	28.7	3
大阪府	52 998	3	20 490	2	30.2	9	28.6	7
兵庫県	30 486	7	10 658	9	29.9	19	28.4	10
奈良県	6 645	30	2 542	30	30.0	15	28.3	11
和歌山県	4 902	39	2 174	35	29.5	35	27.7	43
鳥取県	2 883	47	1 073	47	29.5	35	28.0	26
島根県	3 103	46	1 117	46	29.8	23	27.9	33
岡山県	10 327	20	3 624	19	29.5	35	27.8	38
広島県	16 365	11	5 332	12	29.7	30	28.0	26
山口県	7 163	28	2 606	29	29.5	35	27.8	38
徳島県	3 776	44	1 447	44	29.5	35	28.0	26
香川県	5 239	38	1 929	37	29.5	35	27.8	38
愛媛県	7 175	27	2 816	27	29.4	43	27.7	43
高知県	3 566	45	1 676	42	30.1	10	28.6	7
福岡県	30 017	8	11 037	8	29.8	23	28.3	11
佐賀県	4 210	42	1 468	43	29.3	44	27.9	33
長崎県	6 981	29	2 528	31	29.5	35	28.1	19
熊本県	9 573	23	3 493	22	29.2	46	27.8	38
大分県	6 197	33	2 318	34	29.7	30	28.1	19
宮崎県	6 239	32	2 619	28	29.2	46	27.7	43
鹿児島県	8 793	25	3 447	23	29.5	35	27.9	33
沖縄県	8 898	24	3 565	20	29.7	30	28.1	19

資料出所 *1~4「人口動態統計(確定数)の概況」厚生労働省HP

調査時点又は期間 調査周期 平成20年 毎年

年齢階級別未婚率



資料：「国勢調査」総務省統計局

婚姻率は前年と同率

「人口動態統計(確定数)の概況」によると、平成20年の婚姻件数は、前年より300件増加して40,604件、婚姻率は前年と同率の5.8でした。

離婚件数は、前年より89件減少して14,112件で、離婚率は前年より0.02ポイント低下して2.01でした。

上がる初婚年齢

平均初婚年齢は、夫が30.7歳、妻が28.7歳で、前年より夫は0.1歳、妻は0.2歳上昇しました。

「国勢調査」によると、平成17年10月1日現在の未婚率は、25~29歳では男性73.9%、女性59.6%で、前回調査(平成12年)より男性は2.4ポイント、女性は5.0ポイント上昇しました。また、30~34歳では男性49.5%、女性31.7%で、前回調査より男性は5.5ポイント、女性は6.6ポイントの上昇となりました。

婚姻率・離婚率 婚姻(離婚)件数÷日本人人口×1,000

※日本人人口は、平成20年10月1日現在推計人口(総務省統計局)です。

未婚率 当該年齢の未婚者数÷当該年齢の総人口×100

◆ 平均初婚年齢の年次推移 ◆

		S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20
夫	埼玉	27.3	27.3	27.2	27.3	28.2	28.5	28.5	28.6	29.1	30.2	30.5	30.6	30.7
	全国	27.2	27.2	26.9	27.0	27.8	28.2	28.4	28.5	28.8	29.8	30.0	30.1	30.2
妻	埼玉	24.8	24.6	24.5	24.9	25.5	25.7	25.8	26.3	27.1	28.2	28.4	28.5	28.7
	全国	24.4	24.5	24.2	24.7	25.2	25.5	25.9	26.3	27.0	28.0	28.2	28.3	28.5

資料：「埼玉県の人口動態概況(確定数)」県保健医療政策課HP